

高校生のための心理学講座

皆さんは「心理学」にどのようなイメージをお持ちでしょうか？「こころ」の中で考えていることがわかってしまうちょっと怖いもの、あるいは神秘的で怪しげなもの、と考えている人が多いのではないのでしょうか。本講座では、このような「心理学」への誤解を解き、「心理学は実証に基づく科学的な学問」ということを、専門家がわかりやすくお伝えします。「高校生」と「高校の先生方」を主な対象として開講いたしますが、心理学に興味をお持ちの一般の方にもご参加いただけます。多くのご参加をお待ちしております。

2019年 9月21日(土) 開場(受付開始)時間 10:00

開始(着席)時間 10:30

終了時間 16:20

参加費無料・事前申込制
定員200名(先着順)

愛知大学

名古屋キャンパス講義棟 L805教室

「名古屋」駅より徒歩約10分、あおなみ線「ささしまライブ」駅より徒歩約2分、近鉄「米野」駅より徒歩約5分。

<http://www.aichi-u.ac.jp/guide/access#b-407288>

- ・筆記用具をご持参ください。
- ・キャンパス内のコンビニエンスストア・フードコートの一部店舗で昼食を購入できます。またキャンパス近隣にも飲食店があります。

◆ 企画者・司会：関 義正 (愛知大学)

10:30-11:20 比較社会心理学	関 義正 (愛知大学)	友達の言動をまねしたり、他の人から助けられたり、反対に制約を受けたりと、わたしたちの振る舞いや感情は他者の影響を受けます。しかし、これは人間に限ったことではありません。社会性のある動物の多くは他者との関係にとっても敏感です。この科目では、人間とそれ以外の動物を比較しながら、心とは何かを考えます。
11:30-12:20 心のモデルと精神疾患	片平 健太郎 (名古屋大学)	心理学では、行動の背後にある心の働きの「モデル」をよく用います。ここでのモデルとは、心の働きの法則を言葉、または数式で記述したものです。この科目では、意思決定や学習を題材として心理学におけるモデルの役割を議論しながら、その応用として精神疾患のメカニズムを記述し、理解する方法についても考えます。
13:30-14:20 比較発達心理学	林 美里 (京都大学)	ヒトの心の進化的な起源を探るため、チンパンジーなどの大型類人猿とヒトの子どもの発達を比較する研究手法があります。物を操作して道具を作ったり、言語のように複雑な構造をもつ行動をしたりする知的能力が、進化や発達の過程でどのように獲得されるのかを考えます。発達を支える親子関係のありかたにも目を向けます。
14:30-15:20 神経・認知心理学	田邊 宏樹 (名古屋大学)	この科目では、自己と他者の関わりを神経科学や生理心理学的視点から読み解きます。私たちが他者とコミュニケーションを取っているときに脳やからだの活動はどうなっているのか、気が合うことに生理学的な基盤はあるのか、など、脳やからだのはたらきを通して自己・他者とは何かについて考えます。
15:30-16:20 集団と災害の心理学	樋口 義治 (愛知大学)	地震や津波などの災害に見舞われたとき、人々はどのように行動するのでしょうか。安全な避難経路について事前に知らされてさえいれば、緊急事態にも適切に行動できるでしょうか。周りの人の判断は個々の人の判断にどのように影響を及ぼすでしょうか。この科目では、実際の調査の結果からそういった疑問について考えます。

● 参加申し込み方法 (事前申込制) ●

日本心理学会ホームページにてご案内しております申し込みサイトより、該当の「大学(会場)」と「開催日」をご確認の上、必要事項(アンケートを含む)を入力してお申し込みください。氏名、フリガナ、性別、年齢、メールアドレス、電話番号、高等学校名、学年もしくは職名、日本心理学会会員の方は会員番号、認定心理士の方は認定番号。

- ・参加希望の方は「必ず」事前にお申し込みください。受付番号をお知らせします。お申し込み多数の際は、ご入場いただけない場合がございます。
- ・往復はがき、Faxでのお申し込みも受け付けますが、各高校生講座、各申込者ごとに必要事項の記入、返信用宛名の記入、返信用Fax番号の記入(必須)をお願いいたします。
- ・お知らせいただいた個人情報は、受付の目的のみに利用いたします。

